

TOPICS

1

岡山大学初の統合報告書「Pay it Forward」を発行！ 「岡山大学統合報告フォーラム2019」を開催



創立70周年を迎えた本学は10月26日、「岡山大学統合報告書2019-Pay it Forward-」を発行しました。統合報告書とは、組織がどのように長期にわたり価値を創造するかを説明するもの（国際統合報告フレームワーク(IIRC)より引用)で、本学としては初の試みとなります。財務情報と非財務情報を組み合わせて、ビジョンと有機的に統合(Integrated)した統合報告書では、本学のこれまでの成果や実績を振り返り、未来につながるビジョンを分かりやすく説明しています。

発行にあたり同日、「岡山大学統合報告フォーラム2019」を創立五十周年記念館金光ホールで開催しました。本学同窓生・学生、県内高校生、他大学関係者、企業関係者、地域の方々から約200人が来場しました。

参考 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/annual.html>



TOPICS

2

岡山大学Alumni会長の小長氏を招き、 岡山大学創立70周年記念講演会を開催

本学は10月25日、創立70周年を記念して、本学第1期卒業生で岡山大学Alumni(全学同窓会)会長の小長啓一氏を演者にお迎えし、創立五十周年記念館金光ホールで講演会を開催しました。

当日は本学学生を中心に、卒業生や学内関係者など400人を超える参加があり、立ち見が出るほどの大盛況となりました。小長氏は「高い志を持って頑張ろうー田中角栄氏生誕100周年に想うー」と題し、田中角栄元首相秘書官や通商産業事務次官などを歴任した自身の経験を振り返り、これからの社会のリーダー候補となる本学学生へ向け、リーダーに求められる資質や心構えを説き激励しました。「日本列島改造論」や「日中国交正常化」といった教科書に出てくるようなキーワードが次々に飛び出し、昭和の激動の歴史を歩んでこられたことを感じさせる小長氏の講演を、来場者は熱心にメモをとりながら聴いていました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8857.html



Pick up!

教育学研究科の寺澤教授が、教育ビッグデータの 研究開発と社会実装活動で文部科学大臣賞の受賞決定！

大学院教育学研究科の寺澤孝文教授が、一般社団法人e-Learning Initiative Japanが主催する「eラーニングアワード2019フォーラム」において文部科学大臣賞を受賞することが10月17日、同法人より発表されました。

寺澤教授は「高精度教育ビッグデータによる学力測定精度の飛躍的向上」という題目のもと、受賞が決定。受賞決定を受けて寺澤教授は、「常識を覆す基礎研究から始まった研究を20年以上かけて新しい教育サービスにまでつなげられた結果が評価されたことは、素直にうれしいです。岡山大学がEd-Techの最先端を走っていることやSIPIに採択されたことがあってのことで、恵まれた環境と研究開発のサポートに深謝します」とコメント。今後の研究開発と教育や産業界における新たな価値提供に意欲を見せました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8853.html



TOPICS

3

本学学生が人命救助で岡山県善行賞

道に迷っている高齢の女性を救助したとして、マッチングプログラムコース4年生の高橋志門さんが「岡山県善行賞」の表彰を受けました。

高橋さんは9月上旬バイクで帰宅途中、岡山市内の路上を深夜にもかかわらずひとり歩いている高齢者を発見。気になって停車し声をかけると、その女性は歩行中に用水路に転落したらしく衣服が濡れていました。このままでは危険と判断しすぐに警察へ連絡しようとしたのですが携帯電話の電波状態が悪く繋がらなかったため、女性を背負って1時間余りの間歩いて家を探して回りました。なかなか女性の家が見つからず困っていた時、偶然、近くの民生委員の方に出会い、女性を無事にご家族に引き渡すことができたとのことです。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8800.html



TOPICS

4

SDGsをメインテーマに 令和元年度第1回「岡山大学未来懇談会」を開催



本学では、次世代を担う若手教職員が自由な発想で持続可能な岡山大学を考える新たな大学ガバナンスプラットフォームとして「岡山大学未来懇談会(未来懇)」を平成29年度より開催しています。本年度第1回目となる「未来懇」を9月25日、本学津島キャンパスの岡山大学創立五十周年記念館で開催しました。

本年度は「岡山大学×国連SDGsのさらなる深化に向けて」をテーマに開催。現役の若手教職員に加え岡山大学SDGsアンバサダーの本学学生が参加しました。参加者は6グループに分かれ、本学が独自性をもったSDGs推進研究大学となるためにどのような教育・研究・社会貢献や大学運営を行うべきかの観点から「今」すべきプロジェクトを作り出すことを目的に、「やりたいこと」「期待される効果」「実現するために乗り越えないといけない障壁」「障壁の乗り越え方」について闊達な議論を行いました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8779.html



TOPICS

5

令和元年度秋季岡山大学入学式、大学院入学式を挙行

10月1日、秋季入学式を創立五十周年記念館で行い、新たに入学したグローバル・ディスカバリー・プログラム学生29人と大学院生88人が大学生活へのスタートを切りました。

新入生を代表して、グローバル・ディスカバリー・プログラムのバラガット マーサ パテルノさんが「In this new environment, we shall continue to improve our talents, share our interests, and forge a path towards brighter ambitions. (この新しい環境で、私たちは自分たちの才能を高め、関心を共有し、より輝かしい夢に向かって進み続けます。)」と宣誓しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8776.html

PRESS
RELEASE

光合成で“ゆがんだイス”型の触媒が酸素分子を形成する仕組みを 解明～人工光合成触媒の合理的設計の糸口に～



異分野基礎科学研究所の菅倫寛准教授、秋田総理准教授、沈建仁教授、理化学研究所の吾郷日出夫専任研究員らの共同研究グループは光化学系IIの“ゆがんだイス”の形をした触媒が酸素分子を形成する直前の状態の立体構造を決定しました。この結果から、光合成において酸素分子が形成される反応の仕組みが明らかになりました。本研究結果は、米国東部時間10月17日、米国科学誌「Science」のResearch Articleとして掲載されました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id671.html

